



(素案)

きらめき ひびき合う ふえふきの子



「生きてはたらく力」を身に付けた子どもの育成

家族や人を愛し、自然や郷土を大切にする子どもの育成

平成 20 年  
笛吹市  
笛吹市教育委員会

# 「笛吹市学校教育ビジョン」の構成

## — 第1部 —

### I 学校教育ビジョンのあらまし

1. ビジョンの趣旨
  - なぜ学校教育ビジョンを策定するのか
  - 学校教育ビジョンを各校の経営方針に生かす
2. ビジョンの性格と役割
3. ビジョンの見直し
4. ビジョンの対象

## — 第2部 —

### II 学校教育をとりまく現状

1. 社会環境の変化
  - ライフスタイルの変化
  - 進む少子化
  - 地域の教育力の低下
  - 家庭の教育力の低下
2. 子どもの生活習慣の変化
  - 基本的生活習慣
  - 学ぶ意欲の低下
  - 読書の実態
  - 遊びの様子
3. 学校教育の現状と課題
  - 国の教育改革
  - 学力の実態
  - 特別支援教育の課題
  - 不登校の問題
  - 進学の様子
  - 子どもたちの体力テストの結果から

## — 第3部 —

### III 笛吹市の学校教育の基本理念

1. 基本的な考え方（理念）
  - 新しい笛吹市の教育を目指して
  - 「生きてはたらく力」を身に付けた子どもたちを
  - 人・自然・郷土を愛する教育を
2. 目指す子ども像
3. 基本目標

### IV 笛吹市の学校教育の基本方針と具体的な施策

#### 基本方針と具体的な施策

##### 基本方針 1 「確かな学力」の育成と学びを深める教育

- 「確かな学力」の育成
- 社会に目を向け学びを深める教育

##### 基本方針 2 しなやかな心と丈夫な体をつくる教育

- 人としての生き方を学ぶ教育
- 自然や郷土を大切にする教育
- 食教育と保健教育の充実
- 不登校児童・生徒及びいじめへの対応

##### 基本方針 3 豊かな成長を支える教育環境の充実

- 開かれた学校づくり
- 各校種間の連携
- 教職員の子どもを支える力・導く力の向上
- 安全・安心な学校づくり
- 積極的な市教委

# 笛吹市学校教育ビジョン(素案)

笛吹市といえば、豊かな自然、歴史・文化、それから人々が集うまちです。原始・古代から人々はこの地に暮らし、遠くに南アルプスの山々、眼下に甲府盆地を眺め、様々なことに思いをはせ、夢を見てきました。笛吹市に生まれ育った者にとって、この景色こそが心の故郷＝原風景となっています。

そしてこの原風景は、本市が生んだ偉大なる俳人、飯田蛇笏の句にも見事に詠まれています。

芋の露連山影を正しうす

飯田蛇笏



教育は人づくりであり、人づくりはまちづくりでもあります。笛吹市の将来を担う子どもたちは、まちの宝であり、財産でもあります。その子どもたちが「笛吹市に生まれ、育ってよかった」と思えるような、また、一人一人の個性が輝くような、そんな笛吹市の教育を築き上げていきたいと考えています。

飯田龍太の句は、まさに笛吹市の教育の原点でもあります。

どの子にも涼しく風の吹く日かな

飯田龍太

笛吹市教育委員会はここに、笛吹市の新しい学校教育の指針となる『笛吹市学校教育ビジョン』を策定しました。

笛吹市のシンボル

市の鳥



オオルリ

市の花



バラ

市の木



もも

平成17年9月28日「笛吹子ども議会」にて決定